

子どもの森の健康診断in宗賀小学校



令和6年6月19日(水)

宗賀小学校4年生・教員、どんぐりプロジェクトメンバー、宗賀財産区議員

一般社団法人塩尻市森林公社

宗賀小学校（30名）の皆さんと

「子どもの森の健康診断」を実施しました。

1. 学び

雨により予備日での実施でしたが、実施日当日は天候に恵まれ、木の葉が揺れ、木の香りが漂う中「森の健康診断」を行いました。

まずは森の勉強です。公社職員から、木の種類や森のはたらき、森林整備の必要性などについて、紙芝居や写真を使って学習します。



2. 調査

調査開始。

まずは、目を閉じ、耳を澄まして、五感で森を感じます。鳥のさえずりや草木の香り、地面の感触や明るさなど、それぞれに感じたことを発表し合います。



釣り竿などを使って木の混み具合を調べます。また、木の胸高直径を巻尺を使って調べます。測り終えたら「早見表」を使って混み具合の診断です。

3. 体験

いよいよノコギリを使って木を伐倒します。

木を伐るにはまず、「受け口」と「追い口」を作ります。ふだん使ったことのないノコギリに苦戦しながら、一生懸命伐ります。後はみんなで力を合わせ、ロープを引っ張り倒します。



間伐したことで、空が開きます。間伐はとても大事な作業。これで、日光も当たり、草木が生えてること森が健康になります。